

視覚の実験室

モホイ=ナジ/イン・モーション

2011年9月17日[土] - 12月11日[日]

主催: DIC 川村記念美術館

後援: ハンガリー共和国大使館 / 日本建築学会 / 日本デザイン学会 / 千葉県 / 千葉県教育委員会 / 佐倉市 / 佐倉市教育委員会

協賛: 郵便事業株式会社 / ミサワホーム株式会社

協力: モホイ=ナジ財団 / 日本貨物航空株式会社

企画協力: 株式会社アールアンテル

開館時間: 9:30 - 17:00 [入館は16:30まで]

休館日: 月曜日 [9/19と10/10は開館]、10/11[火]

入館料: 一般1,200円 [1,000円] / 学生・65歳以上1,000円 [800円] / 小中学生・高校生500円 [400円] ※ [] 内は20名以上の団体料金

DIC 川村記念美術館
Kawamura Memorial DIC Museum of Art

千葉県佐倉市坂戸631
Tel. 0120-498-130

<http://kawamura-museum.dic.co.jp>

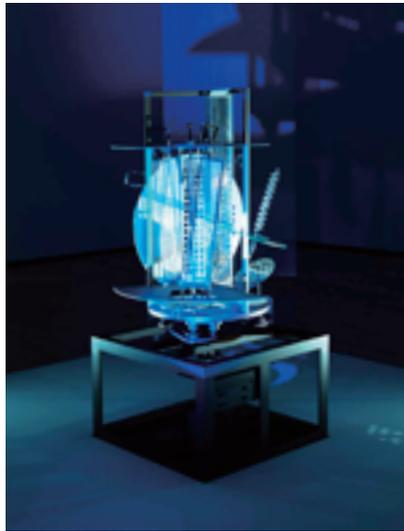




1



6



7



8



2



3



4



5

※会期中に作品の一部を
展示替えいたします
※コレクションもあわせて
ご覧いただけます

モホイ=ナジは、たくさんの芸術作品と著述を遺した。それはあらゆる視覚芸術に及んでいる。さまざまな分野で華やかな貢献を成し遂げた彼は、まるで「レオナルドのよう」だ。

—建築家 ヴァルター・グロピウス

レオナルド・ダ・ヴィンチにも匹敵する多彩な仕事を展開し、20世紀美術に新しいヴィジョンをもたらした芸術家。それが、モホイ=ナジ・ラーサーです。

モホイ=ナジ(1895-1946)は、社会主義革命や世界大戦が勃発する不安定な情勢下、母国ハンガリーからオーストリア、ドイツ、オランダ、イギリス、アメリカへと移り住みながら、「アートとテクノロジーの融合」を目指して実験を繰り返し、新たな芸術価値の創造に挑み続けました。彼が手がけた仕事は、絵画、写真、彫刻、グラフィック・デザイン、舞台美術、映画と多岐にわたりますが、それらはいずれも、彼の革新的なアイデアが生み出した「光と運動による造形」といえます。こうしたマルチ・アーティストとしての活躍のみならず、ドイツの総合芸術学校「バウハウス」で教鞭をとり、後にシカゴに設立された「ニュー・バウハウス」の校長を務めたモホイ=ナジは、教育者としても名を馳せ、その芸術理念や教育哲学は広く後世に伝えられています。

本展は、多数の貴重な初公開作品を含む遺族のコレクションを中心に、ハンガリー時代の素描や構成主義作品、代表作となるキネティック彫刻「ライト・スペース・モデュレータ」、カメラを使わない写真「フォトグラム」、アメリカ時代のカラフルな絵画など、国内外から集められた約270点によってモホイ=ナジの全貌を明らかにする、日本で最初の本格的な回顧展です。

- 1.《自画像》1919-20年頃 /ハトゥラ・モホイ=ナジ・コレクション
- 2.《建築1あるいは青の上の構成》1922年(?)
サルゴトラス・フォー・エデュケーション
- 3.《自画像》1926年 /ハトゥラ・モホイ=ナジ・コレクション
- 4.《無題(ベルリンのラジオ塔から)》1928/1973年
ハトゥラ・モホイ=ナジ・コレクション
- 5.『ディー・ノイエ・リーニエ』表紙デザイン
1932年10月号 神奈川県立近代美術館(仲田文庫)
- 6.モホイ=ナジのポートレート(1926年頃)
- 7.《ライト・スペース・モデュレータ(電気舞台のための光の小道具)》
1922-30年/2006年
ハーバード大学附属ブッシュ=ライズンガー美術館
撮影:矢萩喜俊郎
- 8.《スペース・モデュレータCH1》1943年 DIC川村記念美術館
©2011 Hattula Moholy-Nagy

【関連イベント】

◎特別ギャラリートーク「モダン・デザイン誕生の裏で」

「知らざるモホイ=ナジの世界」

9月17日[土] 14:00-15:00

先着60名/エントランスホール集合

本展監修者・井口壽乃氏(埼玉大学教授)が、モホイ=ナジ芸術の魅力について語ります

◎講演会

「モホイ=ナジのタイポグラフィ:コミュニケーションの発見」

10月15日[土] 14:00-15:00

聴講費:入館料のみ

山本政幸氏(多摩美術大学准教授)が、モホイ=ナジやバウハウスの作家たちが手がけたタイポグラフィ、その特色と現代のグラフィック・デザインに与えた影響について、講演します
※当日12:00より、美術館受付で希望者(先着60名)に整理券を配布

◎学芸員によるギャラリートーク

10月9日[日]・11月3日[木] 14:00-15:00

先着60名/エントランスホール集合

展覧会の担当学芸員が、モホイ=ナジ展会場作品を解説します

◎ガイドツアー

上記イベント開催日以外の毎日14:00より、ガイドスタッフによるツアーを行っています

予約不要/エントランスホール集合

◎音声ガイド(1台500円)

レプリカント、モネ、ピカソ、ロスコなどの収蔵品とモホイ=ナジ作品の解説をお聞きいただけます

◎ワークショップ「影をつかまえる」

9月24日[土] 10:30-16:00

定員25名(予約制)/参加費:1,000円(入館料別)

写真家・浅見俊哉氏と、カメラを使わない写真「フォトグラム」を作ってみませんか?

※お申し込み方法など、詳しくは美術館HPをご覧ください

◎「FOLK notebooksとDRAWING AND MANUALによる視覚の実験室」

10月12日[水]-16日[日] 9:30-17:00

第1ギャラリー/入場無料

FOLK notebooksと最新のインタラクティブ装置で、誰でも遊べる実験室を作ります

◎ヨーロッパの冬の風物詩「クリスマス市」

12月3日[土]-24日[土] 11:00-16:30

第1・第2ギャラリー/入場無料

クリスマスの到来を祝うおもちゃやリース飾りなどを販売、お買い物とお食事をお楽しみください

【交通案内】

自動車

東関東自動車道「佐倉IC」より、国道51号を千葉方面へ進み「坂戸」交差点を左折、県道22号線(八街横芝線)を八街方面へ700m直進右手(約10分)、無料駐車場300台

東京駅から高速バス

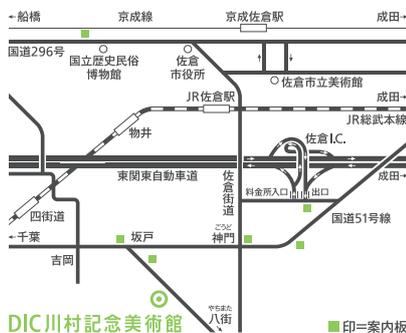
八重洲北口から徒歩5分、京成高速バス3番のりばから「マイタウン・ダイレクトバス佐倉ICルート」に乗車(約60分)
[行き]東京駅 10:55発→美術館 11:57着
[帰り]美術館 15:29発→東京駅 16:26着

東京駅からJR

総武快速線エアポート成田で「佐倉駅」下車(約60分)、南口の美術館バス停より無料送迎バス(約20分)

上野駅から京成電鉄

京成本線特急または快特の成田方面行きで「京成佐倉駅」下車(約60分)、南口「シロタカメラ」前より無料送迎バス(約30分)



■印=案内板

◎送迎バス時刻表

京成佐倉駅→美術館行

8:50	9:10	9:50	10:20	10:50	11:20	11:50	12:20
13:20	13:50	14:20	14:50	15:20	15:50		

JR佐倉駅→美術館行

9:00	9:20	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30
13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	

美術館→JR佐倉駅行

10:50	11:20	11:50	12:50	13:20	13:50	14:20
14:50	15:20	15:50	16:20	16:45	17:15	

●印は土・日曜・祝日のみ運行増便
歴:国立歴史民俗博物館経由 佐:佐倉市立美術館経由
※上記の館が休館の場合は経由しません

DIC川村記念美術館

Kawamura Memorial DIC Museum of Art
千葉県佐倉市坂戸631/Tel.0120-498-130
http://kawamura-museum.dic.co.jp

割引券「モホイ=ナジ/イン・モーション」DIC川村記念美術館

一般1,200円→1,000円/学生・65歳以上1,000円→800円

◎本券をチケット売場へお持ちください ◎お一人さま一枚につき一回限り有効

千葉市美術館「瀧口修造とマルセル・デュシャン」展(11/22-1/29)との相互割引

◎お買い求め頂いた本展の入場券半券を千葉市美術館へお持ちください/一般800円→640円/大学生560円→450円

◎11月26日[土]・27日[日]・12月3日[土]・4日[日]・10日[土]・11日[日]の6日間、二館を結ぶ無料送迎バスを運行します

千葉市美術館発 13:00/15:00→DIC川村記念美術館/DIC川村記念美術館発 14:00/16:00→千葉市美術館